

旅と絆

(株)センターツーリスト「旅行友の会」会報
第32号(秋号)

発行責任者 古久保 暢夫
電話 06-6354-9131(代)
FAX 06-6354-9134
E-mail c.t@f7.dion.ne.jp

毎年
恒例

忘年ツアーは香港の旅

●●●楽しみな本場の夜景●●●



<不夜城を思わせる香港の夜景>

<3日間の日程>

日次	行程
12/6 (月)	午前8時20分集合 関空よりキャセイ航空にて香港へ 香港到着後アベニューオブスターズ観光 夕食後、ビクトリアピークからの夜景鑑賞 香港泊
12/7 (火)	終日、香港島・九龍半島観光とショッピング (昼食・飲茶) 夕食後、スタークルーズとシンフォニーオブ ライツ鑑賞 懇親会 香港泊
12/8 (水)	市内観光へ 昼食後、空港へ キャセイ航空502便にて関空へ (関空21:00着)

飲茶の本場へ

旅行代金高騰の中、なかなか決まらなかった今年の「忘年ツアー」。

そんな中、「香港2泊3日の旅」が浮上。

「いまさら香港？」との予想に反して、「20年前に行った」という一人を除いて「・・・」。

「一度は行ってもいいかなぁ」と即決。

香港といえば、まず浮かんでくるのは夜景。一度は自分の目で確かめたいとも思う。

二日目企画のスタークルーズとシンフォニーオブライツにもちょっと期待しているのだが・・・。

ショッピング目的で行く若い人も多いようだが、お買物は『買放題・払放題』。但し、しっかり値切ることをお忘れなく！

忘年ツアーは平和・自然・文化などのテーマにこだわらず、「仲間つくり」を第一に、思いつき旅を楽しむのもいいのではないのでしょうか。

では、在香港(香港で会いましょう)
(上村 得世)



動物を身近に見て感動！

また行きたいケニア

井川 満さん

孫（飯田俊介）と一緒にケニアに行きました。海外旅行は、どちらかといえはあまり行きたいとは思っていなかったけれど、自然の中の動物を身近に見てものすごく感動しました。

動物たちを大事にすることは、人間をもっとっと大事にすることにながっていきけるのではないかと、痛感した次第です。添乗の築地さんや運転手さんの親切な対応にも非常に感動しました。

草食系動物

も迫力！

飯田 俊介（9歳）君

10日間は長いなあと思っただけ、あっという間に過ぎてしまった。

動物がいっぱい見れてよかった。ジェームスさんと友達になれてよかった。肉食系が格好よかった。ライオンとチーターとハイエナとヒョウとゼグロジャッカルが、迫力があつた。草食系動物も迫力があつた。

マサイの格好になれてよかった。マサイの人とジャンプができてうれしかった。また、ケニアに行きたーい。

※俊介君は帰りの機内で、ジェームス（現地サファリドライバー）さんと別れ、悲しくてずっと泣いていたそうです。



動物の・見学も見学

小山 直子さん



その熱意と誠意に感謝し、その姿勢に感銘をうけました。想像していたよりはるかに広大なアフリカ。やっぱり現地に来るのが一番。思い切ってきてよかったです。動物の孤児院もまたとない見学で、実りの多い旅でした。

写真提供 佐伯洋一さん

動植物チェックリストをもらって、このうち、どれくらい出合えるだろうかと楽しみました。

たくさん動物に出会え、自然の中でのいきざまの一端が見れてよかったです。

運転手さんが、遠く離れたところまで見渡して動（植）物を見つけ、日本語で説明してくださるのに感心しました。



会員さん紹介

旅にはテーマがあります。名所旧跡の観光コース巡りは一般的ですが、私の旅は「焼き物巡り」と「古寺探訪」をテーマに各地を旅してきました。

織部 巖さん

(高槻市)

旅の楽しみⅡ焼き物集め

そのきっかけは、私の

苗字が「織部焼」に連想されることから、少しは焼き物の知識がないと話にならないというところからでした。「信楽」や「備前」「丹波」などの六古窯はじめ、「朝日」「高取」「赤膚」などの遠州七窯はもとより、沖縄の「壺屋」や、関東の

「益子」「笠間」など焼き物のふるさとを、連休を利用して訪れてきました。

山あいの清流を利用して陶土を砕く、唐臼(からうす)の音、激しく燃える窯の火、四季折々の陶郷の思い出は、収集した300個の「ぐい呑」に込められています。

緑・清流を満喫一上高地

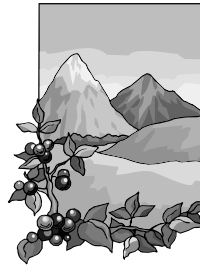
一参加者の感想から一

天気にも恵まれた2日間でした。川と緑いっぱいの中を散策でき、大変よかったです。ご一緒した方にも気さくな方たちと話ができて、センターツーリストならではの旅でした。

友の会会員が千人になったことはすごいです。次は千五百人目標ですね。

★ ★ ★ ★ ★

40年ぶりの上高地を満喫しました。河童橋の周辺は雰囲気がいっぱい変わり、あまり感心しませんでしたが、梓川沿いに歩いた緑・清流・山の景色は感動の連続。企画された方々に感謝します。



「元気でしなやかに人間らしく」

旅をしたい・・・<その5>

辻野忠男さん

「誰でも、いつでも、変わる」私の座右の銘です。

若者が成長し、年配者もいつまでも若さを保つ秘訣は、人らしさを磨くことです。その集大成として5つにまとめました。

① D「出歩くこと」。

② H1「働くこと」。

③ H2「話し合うこと」。

④ H3「本を読むこと」。

⑤ Ya「休むこと」、活動家や関西人はこれが一番難しい。日々、質的に高い休み方を、是非、模索してください。

⑥ D「出歩くこと」。

⑦ Ya「休むこと」。

⑧ H1「働くこと」。

(つづく)

みごとな展望 奥琵琶湖

山部会

賤ヶ岳～山本山ハイク

花鳥園に遊ぶ

写真部



神戸花鳥園、9人参加で楽しく過ごしました。

写真部の特質ですが、撮影よりも、後の神戸元町の中華飯店の方がすごく盛り上がり、こちらのほうが盛況でした。

この席上、今年残る2つの撮影会を必ず成功させようと思っ統一、さすが写真部ですね。飲んでばかりでないのが、いいところですね。

さて、いよいよ観光シーズン。写真部の出番です。

秀吉と柴田勝家が、天下分け目の決戦をした場所が賤ヶ岳。山頂からは、琵琶湖と余呉湖が一望できます。421mとそれほど高くなく、幅広い遊歩道があると、馬の鞍のような飯浦への下山道と出会う。美しい雑木林を通って山頂に。展望台からは湖北

の町並みや、山本山へ続く稜線が美しい。
※詳しくは、同封のピラを参照してください。



私のコーヒーブレイク

「まあ、ええかあ」とあきらめへん！
美しい庭を散策し、数々の美術品を鑑賞。有名ホテルで昼食となる予定が、「予約入っていません」と言われた。マレーシア観光時の話。
同名のシンガポールのホテルの予約だった。こんな時あなたならどうしますか？

代表を選んで旅行社と交渉することになり、Aさんが交渉役に。現地旅行社に食事代とオプショナルの2倍の金額を迷惑料として支払わせ、皆に感謝されたとか。
「まあ、ええかあ」と諦めず、納得のいく解決をすることですね。
※この記事は、当社のツアーとは関係ありません。

囲碁部 能勢の里で熱戦！

暑さをものともせず熱い戦い・・・

大阪の秋を先取りする能勢の里も今年は暑い！さすが、この地の暑さも例外ではなかった。

しかし、栗の実、重く垂れ下がった稲穂、秋あかね、朝、夕の涼しさなどで秋の訪れを感じさせてくれた8月28～29日、「第4回囲碁の集い」を、能勢の里で開催しました。

直前に体調が悪く欠席された方もありましたが、8名の参加者で大いに盛り上がり、秋の夜長を楽しみました。

手作りのもてなしとお酒、温泉にも浸かり、暑さも忘れ、翌日まで続く熱い対局。やはり有段者(前田5段)は強かった。